

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



1・2年生が収穫したさつまいもを調理したよ！

10月31日(火)の1・2限目、1年生と2年生の子どもたちが、収穫したサツマイモを使ったお菓子作りをしました。子どもたちは、ご協力いただいた保護者の方々に作り方を教えてもらいながら、サツマイモのケーキと大学いもを楽しく作ることができました。この日は、サツマイモを育てていくためにご支援いただいた地域のボランティアの方々をお招きし、作ったお菓子を食べさせていただきました。子どもたちも、ニコニコした笑顔いっぱいの表情をしながら、おいしく食べていました。



三重大の上ノ坊先生にご指導していただきました！

11月1日(水)の5限目に、4年生と5年生、6年生の子どもたちが、11月18日に開催を予定している「かがやき栗真小フェスティバル」で披露する音楽発表の練習を合同で行いました。この日は、三重大の上ノ坊先生をお招きし、合唱指導や合奏指導を行っていただきました。上ノ坊先生は、「声楽・オペラ」を専門にする有名な先生で、昨年度の6月に開催された「宝塚ベガ音楽コンクール」の声楽部門に出場して、見事に優勝しています。最初に、童謡「おにのパンツ」をオペラ風に歌唱していただきました。子どもたちは、先生の声の迫りに圧倒されていました。また、先生にアドバイスを受けながら練習している子どもたちの姿からは、フェスティバルに向けて頑張ろうという気持ちが溢れていました。



学級懇談会への参加、ありがとうございました！

10月24日（火）の道徳授業参観のあとに開催された学級懇談会には、全体で58名と、PTA会員数の8割以上の方に参加していただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

学級懇談会での交流では、自分たちが子どもの頃より、国際化が進んでいる。小さい頃から外国につながる友だちと一緒に過ごしているの、分け隔てなく接している。体験入学をした子が外国に帰ってからもつながりがあり、ズームを通してお互いの文化を紹介し合ったり、日常のことを話したりしている。など、栗真小学校は、外国につながる友だちが多いことが特色であり、日常的に良い体験ができていて、ということをお話される保護者が多かったようです。

また、セクシュアルマイノリティなど、家庭で話題にすることを躊躇するような内容を、学校で扱ってもらえると、家庭でも自然に話をする事ができて、ありがたいという意見もありました。学校で話し合ったことがきっかけになって、家庭でも、話題を深めていくことができると、学校としても、とてもありがたいです。

ドイツのヘンレン小学校と絵画交流をしました！

栗真小学校では、新型コロナが流行する前の数年間、元高校教諭の細川稔様からの声掛けで、ドイツのヘンレン小学校との交流が始まりました。細川様は、県立高校を定年退職後にドイツで短期語学留学をした縁で、定期的にドイツ南西部の小学校や中学校を訪問し、日本の文化を教える活動をしてきたそうです。現在は異なりますが、元々は栗真校区にお住まいがあったことから、本校に声をかけていただいたそうです。新型コロナの流行で、ドイツへ渡航することができず、交流がしばらく中断していましたが、感染症法上の位置付けが5類に移行したことで、ドイツへ渡航する計画を立て、再び本校に声をかけていただきました。細川様は、実は私が高校3年生の時の担任でした。40年ぶりの恩師との再会で懐かしかったです。細川様は、今年で御年81歳となることから、今回の渡航を最後にするとのことで、思いを引き受け、3年生と4年生に絵画の作成をお願いしました。

今回作成した絵画は、細川様の要望で、日本昔話の「桃太郎」と「雪女」の紙芝居です。場面ごとにタブレット端末に取り込み、画面上で彩色したものをプリントアウトしていくという、現代風の技術を活用して紙芝居を完成させていただきました。10月初旬に細川様に託し、ドイツのヘンレン小学校へ届けていただきました。細川様は、2週間ほど滞在し、10月下旬に帰国されました。そして、ヘンレン小学校の子どもたちが作成した「白雪姫」の紙芝居を先日届けていただきました。細川様、ありがとうございました。

